

## 第8回香川県がん診療連携協議会院内がん登録部会がん登録実務者会・議事要旨

日 時 平成 23 年 8 月 26 日 (金) 15 時 30 分 ~ 16 時 50 分

場 所 香川大学医学部附属病院 管理棟 5 階中会議室

出席者 別添

配付資料 別添

開 会

香川県がん診療連携協議会院内がん登録部会長 合田文則香川大学医学部附属病院腫瘍センター長より、がん登録実務者においては、研修会等において研鑽に努めてほしいと挨拶があった。

議 事

### 1 報 告

「第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」参加報告

合田部会長から、資料 に基づき、新しく変わったことの報告が3点あった。1点目は、がん対策推進基本計画を5年ごとに見直すことになったため、都道府県でも5年ごとに見直すことになったこと。2点目は、がん拠点病院は、エイズ関連の相談も受けること。3点目は、緩和ケアに関する講習会に加え、がん化学療法、放射線治療の副作用に関する医療者向けの講習会の開催が義務づけられたため、今年度中にいつ開催するかを報告をし必ず開催する旨の説明があった。がん登録に関しては、地域がん登録のデータを院内がん登録に流用しては、ならないとなっているが、将来的には整備化して国として活用できるようにしていく旨の周知があった。香川大学医学部附属病院をサンプルとして国立がん研究センターが予後調査を試験的に実施。現状の把握と問題点を検討するとの周知があった。さらに、院内がん登録と地域がん登録の完全整合性を実現するために、がん登録部会の設置をすることが決定していると説明があった。

「平成23年度第1回地域がん登録事業に関する会議」参加報告

松浦部会員から、地域がん登録の目的とは、がんの罹患の調査、人口動態の死亡動向等の把握のためである。そのため、目標と基準の設定や地域がん登録中央登録室の機能強化と標準化をする必要がある。また地域と院内がん登録との連携も強化しなければならない。地域がん登録の目標は、IM比2.0以上DCN20%未満。DCO10%未満の全てを満たすことであり、香川県の現状では、2008年においてDCN35% 遡り調査をしてDCN27.2%であると報告があった。これに関連して大山部会員より、地域がん登録標準登録票新項目設定の経緯と今後の予定として、平成25年には地域がん登録と院内がん登録が一致することを目標とすることの補足があった。今後のデータ提出について、ネット型品質管理ツールを用いての提出依頼の話があり、ツールについては、配付し、講習会を設ける旨の周知があった。

### 2 研 修

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録2008年全国集計報告書」

松浦部会員より、資料 を基に、「2008年診断症例香川県集計の各施設からのコメント」として3拠点病院からコメントをもらい、資料を作成し総括したとの報告があった。このように、データを収集することは、なんらかの指標にはなるので、今後も続けていきたい旨の発言があった。

今年度(下半期)の業務計画としては、2009年の診断症例香川県集計施設別データ収集については、すべての病院からコメントをもらい、よりいいものを作成していきたい。2009年は、国立がん予防センターより速報値がでた段階で、香川県内のデータを収集し、がん登録実務者レベルで統計数値をみてコメントを出し、さらに、先生方のご意見もいただくことを目標にしていくこととなった。

### 3 その他

松浦部会員より、院内がん登録部会において、2008年診断症例をもとに、がん登録のデータの統計と分析、評価を行ったこと。院内がん登録実務者は、なるべく遡り調査を少なくすることも目標に頑張っていかなければならない。国立がん研究センターの3年生存率調査をまって、その後、5年生存調査をすることになる旨の周知があった。地域がん登録票の提出については、平成24年1月上旬には提出していただきたく、電子媒体と、紙媒体の両方での提出と決定した。

次回は、2009年度症例の速報値が公表された時点で開催する予定とした。

以上